

インカム戦略と インカムプラス戦略



東京会場
JAビル カンファレンスセンター
4階 401A
 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル
 TEL:03-3212-1912(代)

- 電車でのアクセス
 - ◎地下鉄千代田線・半蔵門線・三田線・東西線・丸の内線(東京メトロ) 大手町駅下車 C2b出口
 - ◎地下鉄東西線(東京メトロ) 竹橋駅下車4番出口
- お車でのアクセス
 - ◎首都高速道路: 神田橋インターチェンジをご利用ください



名古屋会場
ミッドランドホール
 名古屋市中村区名駅4-7-1
 ミッドランドスクエア オフィスタワー5F
 TEL:052-527-8500

- 電車でのアクセス
 - ◎JR名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩5分
 - ◎ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分
- お車でのアクセス
 - ◎名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より約6分 駐車場の収容台数123台
 - 中部国際空港(セントレア)から名鉄空港特急利用で28分



大阪会場
ヒルトン大阪
 大阪市北区梅田1-8-8
 TEL:06-6347-7111

- 電車でのアクセス
 - ◎大阪環状線・東海道本線・宝塚線(JR) 大阪駅下車徒歩2分
 - ◎阪神電車 梅田駅下車 徒歩1分
 - ◎地下鉄四ツ橋線 西梅田駅下車 徒歩1分
- 駐車場のご利用
 - ◎24時間営業
 - ◎300台収容(高さ2.5mまで)

お申し込み方法
 右記のいずれかの方法で、お申し込みいただけます。その際に、開催日またはタイトルをお伝えください(定員になり次第、締め切らせて頂きます)。また、ご案内のセミナーは基本的に機関投資家および資産運用に関連する方を対象とさせて頂いております。それ以外の方からの申し込みはお断りさせて頂く場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

こちらからお申し込み下さい

- ① <http://www.fromhc.com>
プロ投資家向け 資産運用情報サイト「from HC」
- ② FAX: 03-6685-0686
- ③ TEL: 03-6685-0683

※今後、セミナー案内をご希望されない方は、誠にお手数ですが、セミナー事務局まで、お電話(03-6685-0683)か、E-mail (info@fromhc.com)にて、ご連絡をお願い致します。

1/16 (火) 東京
 14:00~17:00 (開場13:30)
 会場: JAビル カンファレンスセンター 4階 401A
 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル
 TEL: 03-3212-1912(代)

2/2 (金) 名古屋
 14:00~17:00 (開場13:30)
 会場: ミッドランドホール
 名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア オフィスタワー5F
 TEL: 052-527-8500

1/29 (月) 大阪
 14:00~17:00 (開場13:30)
 会場: ヒルトン大阪
 大阪市北区梅田1-8-8 TEL: 06-6347-7111

本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討することを目的としております。本セミナー終了後には金融商品取引契約の勧誘を行う場合がございます。金融商品取引契約においては、投資対象の価格変動等により損失が生じる恐れがあります。また、報酬や諸経費は、契約毎に投資対象の種類等が異なるため、予め表示できません。なお、契約毎にリスク及び報酬や諸経費は異なりますので、契約締結前交付書面等をご覧下さい。

ご挨拶に代えて

創造的な闘争としての金融のリスクテイク

『森本紀行はこうみる <http://www.fromhc.com/column/>』(2016.7.26)より

事業を行うからには、その事業に固有のリスクを避けることはできません。そのリスクは、事業にとって本源的なものであって、避けるべき否定的なものとしてではなく、とるべき肯定的なものとして、あるいは、とりたい魅力的なものとして、リスクというよりは、チャンス、即ち、機会、もしくは商機と呼ばれるべきものです。

しかし、本源的リスクテイクにおいては、様々な付随リスクが生じます。それらの付随リスクは、意図せざるもの、不要なもの、余計なものとして、制御される必要があります。また、経営の揺らぎや弛緩のなかで、事業目的から逸脱したリスクをとってしまう可能性もあります。故に、そのような非本源的リスクをとることのないように、経営は統制される必要があります。

金融機関では、表面的には、厳格なリスク管理のもとに、経営統制されているようにみえますが、リスク管理の前提となる本源的リスクテイクが自覚的になされていない以上、実態は、経営なき表層的なリスク管理の横行、もしくは、形式的なリスク管理のもとでの経営の崩壊なのです。

危機からの脱却の道は、顧客への回帰しかないのです。これは、金融も事業であってみれば、事業の本質として、当然のことなのです。つまり、規制のなかで見失われた事業の本質への回帰です。

金融においては、これまでのリスク管理は廃棄されて、いわゆるリスクアペタイトフレームワーク、あるいは、その理念に基づく何か新しいものに置き換わるはずですが。

その要諦は、とるべき本源的リスク、最小化すべき付随リスク、決してとってはいけない非本源的リスクについて、組織の全体において、空気のようなものとして、組織風土として、共通の認識が確立していること、即ち、リスクカルチャーが確立していることです。

そして、リスクカルチャーを常に活かしたものとして醸成する鍵は、顧客の利益のために、誇りを守るために、自己実現のために闘争する精神を、構成員が共有していることです。

講師：森本紀行

講演内容

資産運用の目的は、利息・配当金・賃料等(総称してインカム)を得ることです。

資産とは、このインカム(「子」)を生む元本(「元」)のことです。「元も子もない」とは、「元」がなくなれば、「子」もなくなることをいうのです。資産運用とは、元本の保全をはかりながら、インカムの安定的稼得をめざすことです。

インカムの安定的稼得が重要なのは、インカムには、先に使途が決まっているからです。金融機関や年金基金であれば、インカムは、負債の費用に充当されるものですし、財団等であれば、経常経費に充当されるものです。故に、インカムは、予測可能性の高い安定したものでなければならないのです。

責任ある投資家にとって、資産運用は、資産価格の上昇を目的としたものではありません。しかし、量的に増大し、質的に安定しているインカムを生む資産は、価値の高いものとして、結果的に、価格も上昇するでしょう。

さて、資産の潜在的価値、即ち、インカムを生む潜在力は、十分に、資産価格に反映しているとは限りません。価格が価値を大きく下回る状況もあり得ます。それこそ、魅力ある投資機会ですが、それは、インカムにこだわるからこそ、発見できる投資の機会でもあります。

資産運用とは、安定したインカムの追求です。その追求の先には、より割安なインカム源泉を見つける努力が生まれます。ここでは、安定インカムの追求を、インカム戦略と呼び、インカム戦略の拡張として、割安なインカム源泉へ傾斜をかけることを、インカムプラス戦略と呼んでいます。

項目

- 投資の本質
- 事業価値と投資価値(本源的価値)
- インカム戦略の基本
 - ◎インカムの投資領域
- リスク管理の階層化と事業性(キャッシュフロー創造力)評価に基づく投融資
 - ◎リスク管理からリスクテイク・リターン管理へ
 - ◎投資の機会の収益化
- インカムを基礎とした収益と投資機会による収益
 - ◎極めて大きな取引費用と機会費用
- 流動性の再考



講師略歴

HCアセットマネジメント株式会社
代表取締役社長

森本紀行

三井生命のファンドマネジャーを経て、1990年1月当時のワイアット株式会社に入社。日本初の事業として、年金基金等の機関投資家向け投資コンサルティング事業を立ち上げる。2002年11月、HCアセットマネジメントを設立、全世界の投資機会を発掘し、専門家に運用委託するという、新しいタイプの資産運用事業を始める。東京大学文学部哲学科卒。